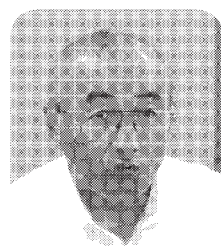


のがある。

問 耐震管へ交換していく予定は。

上下水道課長補佐 順次耐震性の強いものに交換していく計画である。

問 行政評価同様、造った事に対する評価ではなく、安心・安全に供給されるかを評価基準に出来るような方法を考えていくついでに、大きく要望する。



羽本 力 議員

広域連合事業について

問 情報事業の加入状況はどのようになっているか。進捗と目標に対してはどうか。

企画調整課長 加入申込みは、2千452世帯、対象戸数5千236戸であり、46・8%となっている。福島テレビ加入地区がこれらであるが、工事終了地区においては概ね目標どおりである。

問 自主放送を動画配信できるのはいつか。

企画調整課長 機械器具の整備中である。7月末までに完了して、8月からは実施したい。当面福島テレビから画像提供をいただく。問 南部地区可燃物焼却処

理施設解体に伴い、平成22年度より北部と統合するが、稼動にあたっての調整は進んでいるか。

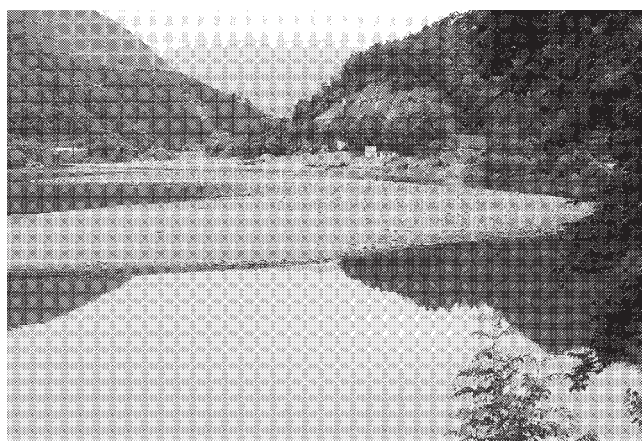
副町長 ゴミの減量化に伴い、統合しても処理が可能であることから、そういった方向で進んでいる。地元への説明も進んでいる。北部7町村で整備を進めた施設であるので、負担調整もおこなっている。

河川管理と整備について

問 河川管理と整備について

問 昨年の大雨により、河川が氾濫して護岸や、農業用水施設が壊れて災害復旧がおこなわれた。しかしダムの堆積や河床の変化、流木の放置などで、水害の危険性があるが把握しているか。

建設農林課長 承知はして

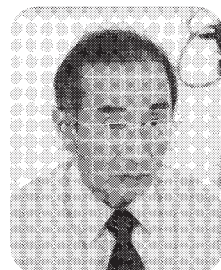


現在の大島ダム

いるが、県の管理下であるので要望する方法しかなないのが実態である。

問 河川管理を重点課題として、河川整備計画を立ててもらおうよう、要望したらどうか。また、ダムについては発電目的で取水できれば良い、となっているが周辺住民は非常に心配しているので、浚渫をおこなってほしい。

建設農林課長 県の方へ要望をおこなう。



下原 照雄 議員

植林木の伐期をひかえての町の施策は

問 当町の森林の内訳は。林務係長 民有林3万haの内、人工林が1万4千ha、材積は約900万m³である。

問 世界的な需要と供給の関係からの国産材に対する影響は。

建設農林課長 木材の需要

